

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2次評価

所属 0001401010 都市計画課都市計画係

事務事業 02220 都市計画管理事務

電話番号 0566-71-2243

【基本情報】

計画次数	03	第9次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	002	主要駅周辺の快適な交流空間の形成と活用			
事務事業	001	都市計画管理事務			
事業期間	昭和44年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	都市計画法、測量法、生産緑地法、駐車場法、安城市都市計画審議会条例ほか				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・都市計画決定事務 ・都市計画基本図管理事務 ・生産緑地管理事務 ・都市計画規制指導事務 ・駐車場整備計画管理事務 ・都市計画基礎調査事務				

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	都市計画決定・協議・届出審査（区域区分、地域地区、地区計画、生産緑地等） 駐車場（届出審査） 都市計画基礎調査 窓口事務（システム、問合せ）

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		19,554	31,316	137,914
事業費		6,154	5,036	96,304
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	6,154	5,036	96,304
人件費計		13,400	26,280	41,610
正規（人）		2.00	3.60	5.70
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	都市計画決定・協議・届出審査（区域区分、地域地区、地区計画、生産緑地等） 駐車場（届出審査） 都市計画基礎調査 窓口事務（システム、問合せ）	都市計画決定・協議・届出審査（区域区分、地域地区、地区計画、生産緑地等） 駐車場（届出審査） 都市計画基礎調査（調査準備事務） 窓口事務（システム、問合せ）	都市計画決定・協議・届出審査（区域区分、地域地区、地区計画、生産緑地等） 駐車場（届出審査） 都市計画基礎調査（調査準備事務） 窓口事務（システム、問合せ）

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001401010 都市計画課都市計画係
事務事業 02220 都市計画管理事務
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	都市計画法、駐車場法等で実施が市に義務付けられています。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由	法令等に基づき実施しています。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	適時的確に処理するよう、常に改善検討に取り組んでいます。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	他自治体でも同様の事務を実施しています。			

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	都市計画管理事務は、都市計画法、駐車場法等の法令に基づき、公正かつ適正に事務処理する必要があるため、法改正や通知を注視し、事務の正確性や効率化を常に考えながら事務を行います。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001401010 都市計画課都市計画係

事務事業 02223 まちづくり承認申請事務

電話番号 0566-71-2243

【基本情報】

計画次数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	001	1 2 都市基盤 その他			
事務事業	002	まちづくり承認申請事務			
事業期間	平成 4 年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	都市計画法、三河安城駅周辺地区まちづくり指導要綱				
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	三河安城駅周辺地区まちづくり指導要綱に基づき、事前協議や審査の届け出に対する指導を行います。

【コスト】

(単位：千円)

		令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額
トータルコスト		2,010	2,190	2,190
事業費	事業費	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	0	0	0
	人件費計	2,010	2,190	2,190
	正規（人）	0.30	0.30	0.30
その他経費		0	0	0

	令和 6年度 事前協議や審査の届け 出に対する指導	令和 7年度 事前協議や審査の届け 出に対する指導	令和 8年度 事前協議や審査の届け 出に対する指導
【事務事業活動実績】			

事務事業評価シート（2 / 2）

4 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 40 分 03 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001401010 都市計画課都市計画係
事務事業 02223 まちづくり承認申請事務
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点	基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
	2		国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
	3		国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
理由		市の要綱に基づく事務で、他の主体が行うものではありません。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
	2		社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
	3		市民ニーズはない又は不明である		
理由		三河安城駅周辺の良好な環境を維持するために必要です。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
	2		目標を下回る進捗状況である		
	3		進捗はかなり遅れている		
理由					
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
	2		事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
	3		事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
理由		適時的確に処理するよう、常に改善検討に取り組んでいます。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
	2		環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
	3		環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
理由		まちの保全の手法として必要であり、適正であると考えています。			

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	三河安城駅周辺地区において、西三河地位の玄関口にふさわしい広域的な商業、業務等を中心とする計画的なまちづくりを推進するためのものであるため、今後も継続して事前協議や届け出に対する指導を適正に行います。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001401010 都市計画課都市計画係
事務事業 02224 まちづくり支援事業

電話番号 0566-71-2243

【基本情報】

計画次数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	002	主要駅周辺の快適な交流空間の形成と活用			
事務事業	003	まちづくり支援事業			
事業期間	平成 4 年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	安城市まちづくり推進補助金交付要綱、安城市まちづくり建築物建設資金利子補給交付要綱				
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	三河安城駅壁面後退補助（交付金決定）

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6 年度 決算額	令和 7 年度 決算額	令和 8 年度 予算額
トータルコスト		4,365	4,556	12,440
事業費	事業費	2,355	2,366	6,600
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	2,355	2,366	6,600
	人件費計	2,010	2,190	5,840
	正規（人）	0.30	0.30	0.80
その他経費		0	0	0

	令和 6 年度 三河安城駅壁面後退補助（交付金決定）	令和 7 年度 三河安城駅壁面後退補助（交付金決定）	令和 8 年度 三河安城駅壁面後退補助（交付金決定）
【事務事業活動実績】			

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001401010 都市計画課都市計画係
事務事業 02224 まちづくり支援事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点		基準		ランク	
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない			1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある			
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている			
	理由	市の要綱に基づく事務で、他の主体が行うものではありません。					
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある			1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している			
			3	市民ニーズはない又は不明である			
	理由	三河安城駅周辺の魅力あるまちづくりに必要です。					
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である			
			2	目標を下回る進捗状況である			
			3	進捗はかなり遅れている			
	理由						
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている			2
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる			
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない			
	理由	適時的確に処理するよう、常に改善検討に取り組んでいます。					
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。			1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。			
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。			
	理由	他自治体でも同様の補助を実施しています。					

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	三河安城駅周辺地区まちづくり指導要綱において、魅力あるまちづくりの推進を図るための補助であるため、今後も継続して適正な事務処理を行います。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2次評価

所属 0001401015 都市計画課事業計画係

事務事業 02221 社会資本整備促進事務

電話番号 0566-71-2243

【基本情報】

計画次数	03	第9次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	002	主要駅周辺の快適な交流空間の形成と活用			
事務事業	002	社会資本整備促進事務			
事業期間	平成元年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・広域道路計画促進調整事業 ・幹線道路整備促進調整事務 ・国庫補助金申請事務				

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	広域道路計画促進調整（県内道路整備関連） 幹線道路整備促進（市内県道整備関連） 国庫補助（補助申請、執行管理）

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		72,780	225,839	240,988
事業費		56,700	209,779	224,198
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	24,022	14,286	19,000
	地方債	0	0	0
	その他	0	133,344	130,000
	一般財源	32,678	62,149	75,198
人件費計		16,080	16,060	16,790
	正規（人）	2.40	2.20	2.30
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	広域道路計画促進調整（県内道路整備関連） 幹線道路整備促進（市内県道整備関連） 国庫補助（補助申請、執行管理） 連続立体交差事業調査	広域道路計画促進調整（県内道路整備関連） 幹線道路整備促進（市内県道整備関連） 国庫補助（補助申請、執行管理） 連続立体交差事業調査	広域道路計画促進調整（県内道路整備関連） 幹線道路整備促進（市内県道整備関連） 国庫補助（補助申請、執行管理） 連続立体交差事業調査

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001401015 都市計画課事業計画係
事務事業 02221 社会資本整備促進事務
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	他の主体が行うものではありません。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	社会資本整備を促進させるために必要です。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	個別の状況にあわせ、常に検討や事務改善に取り組んでいます。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体も同様に実施しています。			

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	社会資本整備を促進させるため、国庫補助の活用や関係機関への要望活動、整備検討調査などを継続して実施します。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1 / 2）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2次評価

所属 0001401020 都市計画課拠点整備係

事務事業 02228 まちづくり推進事業

電話番号 0566-71-2243

【基本情報】

計画次数	03	第9次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	002	主要駅周辺の快適な交流空間の形成と活用			
事務事業	004	まちづくり推進事業			
事業期間	平成29年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト	○		
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	まちづくりに係る地元組織
目的	地域の方針や方向性などを地元と協力しながらまちづくりを推進します。
手段	協議会やまちづくり活動を行う団体を支援します。
事務内容	市街地開発事業に係る企画、調査及び計画決定 民間のまちづくり活動を行う人材発掘、及び活動支援 公共空間の利活用によるまちづくりの推進および誘導

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		79,799	139,481	306,010
事業費		52,999	110,281	276,810
	国庫支出金	3,300	48,999	80,500
	県支出金	0	0	13,500
	地方債	0	43,164	45,000
	その他	0	0	60,000
	一般財源	49,699	18,118	77,810
人件費計		26,800	29,200	29,200
	正規（人）	4.00	4.00	4.00
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	三河安城駅周辺広場整備検討 市有地有効活用事業手法検討（南明区画第一地区12街区） 安城駅周辺広場設計 公共空間の利活用推進（マチナカプレイスメイキング）	三河安城駅周辺広場整備検討 市有地有効活用事業（南明区画第一地区12街区） 安城駅周辺広場整備 公共空間の利活用推進（マチナカプレイスメイキング）	三河安城駅周辺広場整備検討 土地有効活用事業（南明区画第一地区12街区） 安城駅周辺広場整備 公共空間の利活用推進（マチナカプレイスメイキング）

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001401020 都市計画課拠点整備係
事務事業 02228 まちづくり推進事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
マチナカブレイスメイキング実施回数	回	0.00 52.00	50.00 33.00	50.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点		基準		ランク	
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		2	
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある			
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている			
	理由	国・県・民間等と連携して事業促進を図る必要があります。					
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1	
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している			
			3	市民ニーズはない又は不明である			
	理由	駅周辺の土地の利活用について一定の必要があります。					
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		2	
			2	目標を下回る進捗状況である			
			3	進捗はかなり遅れている			
	理由	エリアマネジメントを推進し街の魅力向上を図る必要があります。					
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		2	
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる			
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない			
	理由	効率的な事業手法を検討しています。					
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1	
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。			
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。			
	理由	概ね適正です。					

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	第三次安城市都市計画マスタープランでは、都市機能の集積と居住誘導の取り組みを基盤としつつ、「市民とともにづくり・つかう協創のまちづくり」を掲げ、多様な主体のもとでまちづくりを行うことを推進しています。この方針に基づき、市民、地域団体、市民活動団体、事業者、行政が互いに協力し、それぞれの役割を果たしながら、まちの課題解決や魅力創出に取り組む仕組みを構築することで、これまで地域住民等が中心となってきた活動を地元企業等のステークホルダーと協力してより地域へ波及させ、地域の価値・魅力向上（エリアマネジメント）につなげるため、今後も継続して本事業に取り組めます。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001401030 都市計画課総合交通係

事務事業 02225 あんくるバス運行事業

電話番号 0566-71-2243

【基本情報】

計画次数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	004	生活や産業を支える道路ネットワーク及び快適で利便性の高い公共			
事務事業	017	あんくるバス運行事業			
事業期間	平成12年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト	○		
根拠法令等					
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しのより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・あんくるバス運行事業 ・あんくるバス利用促進事業				

【事業分析】

対象	移動の困難な高齢者を始めとした、すべての市民が
目的	公共交通を利用して移動できるようになります。
手段	民間事業者の運営する路線バスとも連携し、あんくるバス、あんくるタクシーの運行及び利用促進を実施し、市民が日常の生活に必要な公共交通を提供します。
事務内容	あんくるバス運行管理、バス停維持管理、バスロケーションシステム維持管理、あんくるタクシー運行管理、国庫補助事務、利用促進

【コスト】

(単位：千円)

		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		270,731	316,492	362,869
事業費		262,021	305,542	353,379
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	1,000	1,000	1,000
	地方債	0	0	0
	その他	144	19,996	20,820
	一般財源	260,877	284,546	331,559
人件費計		8,710	10,950	9,490
	正規（人）	1.30	1.50	1.30
その他経費		0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	運行費用の負担 バス停維持管理 バスロケーションシステム管理 国庫補助事務 バス停・運行ルート・ダイヤの一部見直し	運行費用の負担 バス停維持管理 バスロケーションシステム管理 国庫補助事務 バス停・運行ルート・ダイヤの一部見直し	運行費用の負担 バス停維持管理 バスロケーションシステム管理 国庫補助事務 バス停・運行ルート・ダイヤの一部見直し 運行契約締結

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001401030 都市計画課総合交通係
事務事業 02225 あんくるバス運行事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
あんくるバスの利用人数	人	0.00 583,478.00	584,000.00 624,744.00	625,000.00 0.00
利用者 1 人当たりの市負担額	円	0.00 477.00	646.00 487.00	646.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	2
2	理由	国・県は事業を行っておらず、民間は撤退傾向にあります。	
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
3	理由	移動手段として市民からニーズがあります。	
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
4	理由	過去最高の利用で、利用者 1 人当たりの負担額も抑制されました。	
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
5	理由	企画競争により事業費を抑えられています。	
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	他市と比較して充実した本数・路線数で運行されています。	

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	あんくるバス・あんくるタクシーは公共交通ネットワークの一つとして、鉄道・民間路線バス・一般タクシー等とそれぞれの役割のもと相互に補完し合い、合理的で効果的な公共交通ネットワークを将来にわたって確保するため、継続して実施します。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001401030 都市計画課総合交通係

事務事業 02226 路線バス補助事業

電話番号 0566-71-2243

【基本情報】

計画次数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	004	生活や産業を支える道路ネットワーク及び快適で利便性の高い公共			
事務事業	018	路線バス補助事業			
事業期間	平成16年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	移動困難な高齢者を始めとした、すべての市民が
目的	公共交通を利用して移動できるようになります。
手段	バス事業者が経営の合理化を進める中で、赤字路線であるために存続が困難とされたバス路線について、事業者に対して補助を行い路線を存続することで、市民の移動手段を確保します。
事務内容	補助金の交付

【コスト】

(単位：千円)

		令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額
トータルコスト		35,328	41,946	35,430
事業費	事業費	34,658	41,216	34,700
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	34,658	41,216	34,700
	人件費計	670	730	730
	正規（人）	0.10	0.10	0.10
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	安城線及び岡崎安城線 への補助金の交付 路線バス利用者増進対 策	安城線及び岡崎安城線 への補助金の交付 路線バス利用者増進対 策	安城線及び岡崎安城線 への補助金の交付 路線バス利用者増進対 策

事務事業評価シート（2 / 2）

4 頁
令和 8年 8月12日
15時40分50秒

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001401030 都市計画課総合交通係
事務事業 02226 路線バス補助事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
運行路線の確保	路線数	0.00	2.00	2.00
		2.00	2.00	0.00
補助路線利用者数	人	0.00	278,000.00	300,000.00
		287,702.00	297,226.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	路線を維持するためには、国・県の補助では不十分です。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	移動手段として市民からニーズがあります。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由	コロナ禍前程度の利用となり、目標を達成しています。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	近隣市や事業者との連携により、利用者増加が図られました。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	路線バスが走る近隣自治体も同様の補助を支出しています。			

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	市民の移動手段を確保し、将来にわたって暮らすことができるよう、合理的で効果的な公共交通ネットワークを形成するため、継続して実施します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

5 頁
令和 8 年 8 月 12 日
15 時 40 分 50 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001401030 都市計画課総合交通係
事務事業 02227 自転車活用推進事業

電話番号 0566-71-2243

【基本情報】

計画次数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	002	1 3 住環境			
施策の取組	006	安全な住環境対策			
事務事業	004	自転車活用推進事業			
事業期間	平成16年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト	○		
根拠法令等	自転車活用推進法				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・エコサイクルシティ協働推進事業 ・レンタサイクル事業 平成 3 1 年度より事務事業名を以下のとおり変更しています。 ・（旧称）エコサイクルシティ推進事業 ・（改名）自転車活用推進事業				

【事業分析】

対象	移動手段として、主に自動車を利用している者が
目的	日頃の移動において、自転車を利用するようになります。
手段	自転車利用の利便性を高めるため、利用環境の整備を行うとともに、健康的で経済性に優れ、環境にやさしい自転車の有益性や交通ルールの周知、マナーの向上のための取組みを、市民・事業者・行政の協働により実施します。
事務内容	自転車通行空間の整備、シェアサイクル事業の展開、利用啓発、自転車活用推進計画の進捗管理

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		20,262	17,079	19,937
事業費		11,552	8,319	10,447
	国庫支出金	1,354	1,543	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	5,227	4,410	6,690
	一般財源	4,971	2,366	3,757
人件費計		8,710	8,760	9,490
	正規（人）	1.30	1.20	1.30
その他経費		0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	シェアサイクル事業の実施 自転車通行空間の整備 検討 自転車利用啓発 自転車安全整備補助金の交付	シェアサイクル事業の実施 自転車通行空間の整備 検討 自転車利用啓発	シェアサイクル事業の実施 自転車通行空間の整備 検討 自転車利用啓発

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2次評価
所属 0001401030 都市計画課総合交通係
事務事業 02227 自転車活用推進事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
自転車通行空間整備延長	km	0.00 16.80	17.60 17.58	18.20 0.00
子ども自転車教室参加満足度	%	0.00 99.00	90.00 100.00	95.00 0.00
シェアサイクル利用回数	回	0.00 16,721.00	5,100.00 39,642.00	39,000.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク	
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	市民に対する自転車の活用推進は、本市で行う必要があります。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由	シェアサイクルの利用や子ども自転車教室への参加等があります。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標通りの進捗である	1
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由	シェアサイクル事業の展開や自転車通行帯の整備を進めています。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	シェアサイクルの利用料収入を得ています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	他市も同様に実施しています。			

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	心身の健康に効果的で環境にも優しい自転車を、公共交通の一つとして位置づけ、安全で快適な自転車利用のための環境整備を進めるため、継続して実施します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

7 頁
令和 8 年 8 月 12 日
15 時 40 分 50 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001401030 都市計画課総合交通係
事務事業 02232 総合交通計画推進事業

電話番号 0566-71-2243

【基本情報】

計画次数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	004	生活や産業を支える道路ネットワーク及び快適で利便性の高い公共			
事務事業	019	総合交通計画推進事業			
事業期間	平成22年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	道路運送法、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律				
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	安城市総合交通会議（地域公共交通会議）の開催 安城市地域公共交通網形成計画の進捗管理 自転車活用推進計画等策定

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6 年度 決算額	令和 7 年度 決算額	令和 8 年度 予算額
トータルコスト		22,032	11,397	31,044
事業費	事業費	13,322	2,637	21,554
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	13,322	2,637	21,554
	人件費計	8,710	8,760	9,490
	正規（人）	1.30	1.20	1.30
その他経費		0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	総合交通会議の開催 地域公共交通計画の進 捗評価 自転車活用推進計画の 進捗評価	総合交通会議の開催 地域公共交通計画の進 捗評価 自転車活用推進計画の 進捗評価	総合交通会議の開催 地域公共交通計画の進 捗評価・次期計画策定 に向けた基礎調査 自転車活用推進計画の 進捗評価・中間見直し

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2次評価
所属 0001401030 都市計画課総合交通係
事務事業 02232 総合交通計画推進事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点	基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	法律に基づき事務局として会議運営しています。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由	公共交通の維持・活性化が求められています。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	バス案内人等、公共交通の利用促進を実施しています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	法律に基づき他市も同様に実施しています。			

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	総合交通会議での協議を通じ、地域住民の日常生活に必要な移動手段である公共交通の維持・活性化を図るため、継続して実施します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。